

科目名	ソフトウェア工学Ⅱ	担当者	門田 暁人、大平 雅雄
授業目的	ソフトウェア開発における新旧の技術的課題の解決のための方法論、ツール、及び、ノウハウについて、ソフトウェア開発プロジェクトの実績データを交えてより実務的な視点から学習する。		
授業内容	ソフトウェアの大規模化、多機能化への要求が増大する中、市場競争の原理により開発期間の短縮、及び、高信頼性の確保への圧力がますます強まっている。さらには、海外への開発の委託、著作権やソフトウェア特許の問題、オープンソースソフトウェアの利用、情報漏えいへの対策など、新しい課題も生じている。本授業では、ソフトウェア工学Ⅰ、Ⅱの授業で学んだソフトウェア構築やマネジメントのための方法論を踏まえ、それらを開発現場へ適用する際の原理原則、及び、より個別性の高い課題や新しい課題への対策や方法論について学習する。特に、実際のソフトウェア開発プロジェクトの実績データに基づく学習を重視し、データ分析やツールの使用についてのレポート課題の提出、発表を適宜求める。		
授業計画	1. データでみるソフトウェア開発の現状		
	2. ソフトウェア開発管理のためのデータ収集とその統計解析		
	3. プロダクトの計測と評価		
	4. 開発者間のコミュニケーションとコーディネーション		
	5. ソフトウェアプロテクション		
	5. ソフトウェアの著作権、特許、契約		
成績評価	試験(20%)、提出レポート(40%)、提出レポートの発表と質疑応答(40%)によって行う。		
教科書	特になし。講義ノートを配布。		
参考書	JJohn McGarry他, 実践的ソフトウェア測定, 共立出版(2004). 情報処理推進機構ソフトウェア・エンジニアリング・センター著作・監修, ソフトウェア開発データ白書2006, 日経BP(2006). その他, 関連する書籍や資料は講義中に紹介する。		
履修条件	ソフトウェア工学Ⅰ, ソフトウェア設計論を受講していることが望ましいが, 必須ではない。		
オフィスアワー	随時。ただし事前にメール等にて連絡すること。 (門田 B303, 大平 B306)		
配布資料	現在、配布資料教材はありません。		